

15 期会 白山一里野温泉と三方岩岳登山

15 期 上馬 康生

恒例の 15 期会は私と松林さんが幹事となり、学生時代から大きく変化した白山麓を見てもらうことや三方岩岳に登り昔の懐かしい山行を振り返ってもらうことなどを目的に、10 月 7～8 日に行いました。参加者と主な日程は下記のとおりで、参加表明後に怪我で入院の松下さんを除き全員の出席でした。

＜参加者＞宇野 2・奥名・金井・坂尻 2・佐野・鈴木・祖父江・高村・南保・舟田・増田・松縄・松林・間所 2・三宅・上馬 2 （合計 20 名）

＜日 程＞10/7 13:00 小松駅東口集合→吉野工芸の里（御仏供スギ・工芸作品展）→手取峡谷（不老橋・綿ヶ滝）→旧白山下駅→中宮展示館→白山一里野温泉岩間山荘（宴会・宿泊）

10/8 8:00 宿出発→白山白川郷ホワイトロード（ふくべの大滝・樺の木台）→三方岩駐車場→9:30（登山組 16 名とドライブ組 3 名に編成）→10:30 三方岩岳着→12:00 三方岩駐車場で解散

開催前日から台風 25 号が接近してきて 7～8 日は石川県内でも多くの行事が中止される中、7 日は心配された列車の遅れもなく参加者の多くが小松駅に無事集まりました。名物小松うどんの昼食後、東口近くに野外展示されているコマツの高さ 7.3m、積載重量 297 t の巨大ダンプを見学したあと 4 台の車で出発。最初の目的地である吉野工芸の里へ向かいました。

工芸の里で 3 名が合流し、国天然記念物の巨大な御仏供杉（おぼけすぎ・おぼくすぎ）を歩いて見て回り、ちょうど開催されていた九谷焼・和紙・木工・金工など工芸作家の展示会を見学し



国天然記念物の御仏供杉(白山市吉野)

ました。次に行った不老橋と綿ヶ滝は、学生時代の白山登山では気づかなかった手取峡谷の見学で、水田地帯から一気に 30m 近く浸食された深い峡谷の下を流れる手取川や峡谷を豪快に流れ落ちる綿ヶ滝を初めて知った人も多かったと思います。

かつての白山登山の出発点である白山下は金沢の野町からの電車の終点でしたが、今は鉄道線路跡がサイクリングロードとなり、駅舎は新しくなって昔を偲ぶ古い時刻表が掛けてありました。周辺には当時を思い出す建物などありませんが、ここからバスで別当出合へ、またボンネットバスで岩間温泉や中宮温泉まで行って白山へ登っていたころが懐かしく思い出され、学生時代がみんなの心の中に浮かんでくるのでした。



白山下で（白山市河原山町）

次に行ったのは中宮温泉近くにある中宮展示館です。私たちの学生時代はまだ建物はなく、その少し前までは小学校の温泉分校が夏の間だけ開かれていたところです。館内で分校の教室を模した部屋で昔の暮らしを見たり、ブナ林の動植物や白山の生い立ちの展示を見たり、地形模型で白山の登山道や翌日行くホワイトロードと三方岩岳の位置を確認したりしました。

夕方着いた白山一里野温泉は岩間温泉元湯の源泉から高温の湯を引いてきた温泉で、ホテルやペンション、民宿など 10 数軒ありますが、よく知っている岩間山荘さんに泊まりました。早くから予約していたら、連休にもかかわらず他の客を取らず貸切りにしてもらっていました。ハンターであるご主人や息子さんの捕ったイノシシやクマの肉、近くの山で採られたマイタケやナメコ等各種山菜による、おかみさん手作りの特別料理を楽しみました。他の客がいなかったおかげで、宴会も二次会も気兼ねなく遅くまで行えました。

場所と季節柄、カメムシの飛来に一部悩まされたことと、ひとり遅くまで大きな声で年柄になく元気だったらしいことを除けば、いつものように和やかで楽しい一夜であったと思っています。宿泊料金は驚くほど安く、ホワイトロードの通行料金も協賛宿として無料となり、予定していた会費からかなりの額を返金するくらいでした。ちなみに、おかみさんは今回の集まりの前後にも2度新聞に出ているくらいの有名人です。

8日は朝から見事に晴れ上がり絶好の登山日となりました。8時過ぎに宿を出発し5台の車で白山白川郷ホワイトロードへ入りました。休日で久しぶりの晴天とあり、すでに多くの車が行き来していました。何とか駐車できた、ふくべの大滝と梅の木台でホワイトロードのある蛇谷周辺の地形や植物などの解説をし、三方岩駐車場に着いた時には満車状態で車を止めるのに少し手間取るくらいとなっていました。



梅の木台駐車場、後方は白山(ホワイトロード)

9時半ころにドライブ組の3人以外は、三方岩岳へ登り始めました。15期には自然解説のできるメンバーが3人いるので、先頭を舟田さん、途中に奥名さん、最後に私が入って紅葉している木々や草花などの話をしながら、また見える山々を説明しながらゆっくりと進みました。オオバクロモジの黄やナナカマドの赤、そしてハウチワカエデの変化に富んだ色合いの葉や、イワショウブの赤い実、ツルリンドウの赤紫の実、モウセンゴケなどが見られました。途中から振り返ると、笈ヶ岳や大笠山、奈良岳、見越山、大門山などが見えて、懐かしそうに学生時代を思い出して話し出すメンバーも何人かいました。そして約1時間で山頂広場(加賀岩)に全員到着することができました。

山頂からは白山や前記の山々のみならず360度の大展望で、雲から時々頭を出す穂高岳や立山な



三方岩岳で、白山を眺めながらも望めました。また少し先へ進み、昔の修験者が籠ったとされる窟や夏にはイワイチョウなどが咲く湿地なども見てもらいました。山頂で1時間ほどゆっくり過ごし、重いキスリングを担いで道のないところをブッシュ漕ぎに苦労したことや、雪山と一緒に歩いたときの様子など、それぞれの山々を確認しながら50年近く前の思い出話に花が咲きました。当時は山深くてなかなか来ることができない三方岩岳でしたが、ホワイトロードのおかげで開通時はいつでも簡単に登れて楽しめる山となりました。ちょうど紅葉の最盛期で、しかも休日の好天とあって登山者も非常に多くて賑わっていました。12時には全員三方岩駐車場にもどり、いったん今回の15期会を終了することにしました。天候に恵まれ、メンバーに恵まれ、特に地元のメンバーの協力のおかげで無事、楽しく有意義に行えたことに感謝しています。



笈ヶ岳・大笠山・奈良岳・見越山・大門山をバックにこのあと、松下さんの見舞いに行く者、車で妙高方面へ向かう者、金沢の坂尻邸で泊まって翌日からのオプション登山(砂防新道→山頂→白山禅定道)に参加する者などに分かれました。9~10日は宇野さん、坂尻さん、松林さんに8期の伊豫さんが加わり、私を含む5人で白山へ登り、ワングルの絆が続くのでした。